

## 第3学年 国語科学習指導案

日 時 10月29日(火) 第3校時

場 所 3年教室

指導者 教諭 永富 幸恵

### 研究主題

かかわり合い、深め合いながら、自らを高め続ける児童・生徒の育成  
～ 確かな言語能力を育成する国語科教育を通して ～

- 1 単元名 働く犬についての文章を読み、リーフレットにまとめよう  
教材名 「もうどう犬の訓練」吉原順平 (東京書籍)

### 2 研究主題との関連

本単元では、第3学年及び4学年「C 読むこと」の言語活動例「ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動」を受けて、「働く犬についての文章を読み、中心となる語や文を見付けて『ワンワンワーキングブック』にまとめる。」ことを言語活動として位置づけた。

ここで言う『ワンワンワーキングブック』とは、盲導犬や警察犬などの働く犬の仕事についてまとめたリーフレットを意味している。「もうどう犬の訓練」は、盲導犬の定義や役割、訓練の段階を順序立てて説明した文章である。段落のまとまりがはっきりしていて、話題提示、盲導犬の訓練についての説明、まとめというように「はじめ・中・終わり」という文章構成がわかりやすくなっている。また、それぞれの訓練の内容や様子について具体的に述べられているため、内容を読み取りやすく、だいたいの言葉や文を見付けやすい。さらに、児童にとって身近で親しみやすい動物である「犬」が盲導犬になる過程について、知らないことが多いと思われ、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができる教材である。

リーフレットづくりという言語活動を設定し、中心となる言葉について話し合ったり、書いた要約を読み比べたりすることで、かかわり合って言語能力を育成することができると考えられる。

### 3 指導の立場

#### (1) 児童観

本学級の児童は、読み聞かせや読書の時間が好きであり、同じ本について休み時間に話をするなど、進んで感想を伝え合っている。児童はこれまで、2年生で説明文「あなのやくわり」で時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を読むことや、文章中の中心となる言葉や文を書き抜く学習を行った。5月に行った説明文「自然のかくし絵」の学習では、目的に応じて中心となる語や文をとらえる活動を行った。このように、本単元のねらいである要約することに関する学習をしてきているが、文章中の中心となる言葉を見付けることに課題がある児童や、内容に即した文章を短く表現することが難しい児童が見られた。事柄の順序などを考えながら本文の内容を読み取る力や、中心となる言葉や文を見付ける力を身につけさせることが課題である。

#### (2) 教材観

本単元は、知りたいことについて調べて短くまとめる活動を通して、中心となる言葉や文を見付けながら読み、要約する力を付けることをねらいとしている。教材文「もうどう犬の訓練」では、盲導犬の定義や役割について説明しているため、中心となる言葉や文を見付けやすく、段落ごとの内容をとらえやすい。そのため、要約するのに適した教材である。

中心となる言葉や文は何かを思考し、まとめる学習を通して、児童は要約の仕方を身につけるこ

とができるだろう。また、単元を貫いて行う「ワンワンワーキングブック」づくりの学習を通して、目的をもって情報を集め、様々な情報から必要なことを取り出し、それをまとめることで相手に伝わる文章を書く力も定着していくと考えられる。

また、感想を友達と共有することを楽しむ本学級の児童にとって、「ワンワンワーキングブックにまとめよう」という単元は魅力的であり、興味や関心をもった内容について、見通しをもって取り組ませたい。

### (3) 指導観

- 「ワンワンワーキングブック」の参考作品を示し、学習計画を提示することで見通しを持って学習ができるようにさせたい。
- 中心となる言葉や文を見付ける方法として、以下の手法に気付かせることで、要約の一助としたい。
  - ① 題名と関係が深い言葉に注目する。
  - ② 「さいしょは」「次は」「たとえば」「さらに」などの接続詞に注目し、例とまとめの読み分けを行う。
- 「犬は」「犬が」という主語がない場合、どうやってもうどう犬の訓練内容を読み取るのか問いかけることで、動詞に注目させたい。動詞が明らかになると、明示されていない主語も類推することができるため、子どもが訓練内容を捉えることができるようにする。
- 働く犬についての本や図鑑を読み、仕事内容や訓練の方法などを、「もうどう犬の訓練」と同じように児童自身が見付けていくことができるようにする。
- 「ワンワンワーキングブック」を完成させる前に友達と交流する時間を設定し、付け加えた方が良い情報などのアドバイスをし合うことで、より必要性の高い情報について考えさせる。
- 完成したガイドブックを読み合い、短く、かつ分かりやすい文章を書かれているものについて考えさせることで、友達と自分のまとめ方の違いに気付かせたい。

## 4 単元の指導目標

- 働く犬についての情報を比較や分類し、中心となる語や文を書き留めることができる。  
【情報の扱い方に関する事項 イ】
- 出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。  
【情報の扱い方に関する事項 イ】
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。 【C読むこと ウ】
- 「ワンワンワーキングブック」に、働く犬について進んでまとめようとすることができる。  
【主体的に学習に取り組む態度】

## 5 単元の評価規準

知識および技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く犬についての情報を比較や分類し、必要な語句などを書き留めることができる。 (情報の扱い方に関する事項 イ)</li> <li>・出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 (情報の扱い方に関する事項 イ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。 (読む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ワンワンワーキングブック」に、働く犬についてすすんで考えをまとめようとするすることができる。</li> <li>・自分で書いた語句や文章を読み返し、振り返ることができる。</li> </ul>

6 指導計画（全10時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点（・） 言語活動の充実のための指導(㊦)	評価規準 【観点】〔方法〕
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を見て、「ワンワンワーキングブック」を作るという学習の見通しを立てる。</li> <li>「もうどう犬の訓練」の範読を聞き、もうどう犬のすごいところについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の特に心に残ったことに線を引かせることで、自分の意見を確実に持てるようにする。</li> <li>㊦もうどう犬のすごいところについて、教科書に線を引いたところを見せ合いながら話し合わせる。</li> </ul>	<p>【関】「もうどう犬の訓練」を聞き、もうどう犬についてすごいと思ったところを見付けて感想をもつことができる。〔行動観察・発言〕</p>
二	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文を「始め」「中」「終わり」に分け、大まかな構成をつかむ。</li> <li>意味のわからない単語に注目し、全体で意味の確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もうどう犬とはどんな犬なのか説明している文章に線を引かせ、始めの文章について理解させる。</li> <li>㊦もうどう犬とはどんな犬か、短くまとめて説明している文章はどこか話し合わせる。</li> </ul>	<p>【関】意味の分からない単語について、辞書を活用して自分で調べることができる。〔リーフレット〕</p> <p>【読】「始め、中、終わり」という文章構造を理解することができる。〔発言・ノート〕</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の言うことにしたがう訓練とはどんな訓練か、中心となる言葉を見付けて要約する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題名と関係のある言葉や、接続する言葉に注目させ、例文の前後に短くまとめられた文章があることに気付かせる。</li> <li>㊦中心となる言葉を使って段落の要約文を書かせる。</li> </ul>	<p>【読】中心となる言葉や文を手がかりに、文章の要点を見付けることができる。〔行動観察・発言〕</p> <p>【言】文章の要点を見付け、要約することができる。〔リーフレット〕</p>
	4 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>人を安全にみちびく訓練とはどんな訓練か、中心となる言葉を見付けて要約する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題名と関係のある言葉や、接続する言葉に注目させ、例文の前後に短くまとめられた文章があることに気付かせる。</li> <li>㊦中心となる言葉を使って段落の要約文を書かせる。</li> </ul>	<p>【読】中心となる言葉や文を手がかりに、文章の要点を見付けることができる。〔行動観察・発言〕</p> <p>【言】文章の要点を見付け、要約することができる。〔リーフレット〕</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>もうどう犬にふさわしい心がまえとはどんなことか、中心となる言葉を見付けて要約する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題名と関係のある言葉や、接続する言葉に注目させ、例文の前後に短くまとめられた文章があることに気付かせる。</li> <li>㊦中心となる言葉を使って段落の要約文を書かせる。</li> </ul>	<p>【読】中心となる言葉や文を手がかりに、文章の要点を見付けることができる。〔行動観察・発言〕</p> <p>【言】文章の要点を見付け、要約することができる。〔リーフレット〕</p>

	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成した「ワンワンワーキングブック」を読み合い、リーフレットの作り方について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後の文章が結論になっていることをリーフレットにまとめさせる。</li> <li>㊦作ってきたリーフレットの作り方を順序立てて振り返らせる。</li> </ul>	<p>【読】リーフレットの作り方が理解できているか確認することができる。〔リーフレット〕</p>
三	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く犬についての本を読み、同じテーマの本を選んだ人同士でどんな仕事内容なのか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦同じテーマの本を選んだ人同士で、働く犬の仕事内容について話し合わせる。</li> </ul>	<p>【読】知りたい事柄について調べるために、関連する内容の本を選んで読んでいる。〔リーフレット〕</p>
	8 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに詳しく調べ、働く犬の仕事や訓練内容などについて、「ワンワンワーキングブック」にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでまとまって活動させることで、リーフレットの内容がより深まるようにさせる。</li> <li>㊦同じテーマの本を選んだ人同士で協力しながら、働く犬の仕事や訓練内容についてわかったことを共有させる。</li> </ul>	<p>【読】知りたい事柄を調べるために本や資料を読み、必要な情報を集めている。〔行動観察・発言〕</p> <p>【言】調べて分かったことを整理して、紹介するために中心となる言葉や文を落とさないように要約している。〔リーフレット〕</p>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がった「ワンワンワーキングブック」を読み合い、感想を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットを読み合い、いちばんわかりやすくまとめている人はだれか考えさせる。</li> <li>㊦出来上がったリーフレットを読み合い、わかりやすく要点を見付けたり、要約できていたりする人を見付けて発表させる。</li> </ul>	<p>【読】「ワンワンワーキングブック」を読み合い、働く犬についてわかりやすく要約できているか確かめ合っている。〔発言・ノート〕</p>

## 7 本時の学習（第二次 4／10）

- (1) 目標 人を安全にみちびく訓練について中心となる言葉を見付けることを通して、9～12段落を要約することができる。
- (2) 準備 学習計画の掲示、本文の全文掲示、ワンワンワーキングブック
- (3) 展開

過程	学習活動・内容 予想される児童の反応	教師の働きかけ（○） 言語活動の充実のための指導（㊦） 評価（◆）
つかむ	<p>1 前時までの学習を想起し本時の課題を確認して、音読を行う。</p> <p style="text-align: center;">人を安全にみちびく訓練を要約しよう。</p> <p>2 本文の9～12段落を読み、二つ目の訓練内容が分かる言葉や文を見付け、傍線を引く。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人を安全にみちびく訓練</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><p>【予想される児童の反応】</p><ul style="list-style-type: none"><li>・ハーネスが犬の体に取りつけられる。</li><li>・あぶないものの前で止まったり、それをよけて進んだりすることを教えこまれる。</li><li>・使っている人にとってきけんな命令にはしたがわない。</li></ul></div>	<p>○学習計画に沿って本時の学習課題を確認させる。</p> <p>○中心となる言葉に気を付けて音読させる。</p> <p>○本文に傍線を引くことで、視覚的に選んだ場所の違いが分かるようにする。</p> <p>○ペアで線を引いたところを紹介し合わせると共に、可能であれば理由を説明させる。</p>
つなげる	<p>3 全体で意見を発表し、要点をまとめる上で特にだいたいな言葉はどこか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・題名「もうどう犬の訓練」と関係の深い言葉</li><li>・「さいしょは」「たとえば」等の接続の言葉</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>・前の時間では「さいしょは」の文がだいたいな言葉だったから、「次は」の文がだいたいな言葉になる。</li><li>・「たとえば」のある文は例になるから、他にもっとだいたいな言葉があると思う。</li><li>・「…くり返しくり返し教えこまれます。」と書かれているから、訓練と関係がある言葉だと思う。</li></ul></div> <p>4 班ごとに要約を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人を安全にみちびく訓練</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>・人を安全にみちびく訓練には、あぶないものの前で止まったり、それをよけて進んだりすること、使っている人にとってきけんな命令にはしたがわないということの2つがあります。</li></ul></div>	<p>㊦根拠となる叙述を明確にして発表させる。</p> <p>㊦題名と関係のある言葉や、接続する言葉に注目させ、例文の前後に短くまとめられた文章があることに気付かせる。</p> <p>㊦具体例とまとめられた文章の違いを見付けさせ、どちらが要点にふさわしいか話し合わせる。</p> <p>◆中心となる言葉や文を手がかりに、文章の要点を見付けることができる。（リーフレット）</p> <p>○中心となる言葉を見付けることが難しい児童には、前時で使った見付け方のコツを示して意見が持てるように支援する。</p> <p>㊦全体で明らかにしただいたいな言葉を生かして、班ごとに要約を考えてワンワンワーキングブックに書き込ませる。</p> <p>◆文章の要点を見付け、要約することができる。（プリント、発表）</p>

<p>深める</p>	<p>・あぶないものの前で止まることと、きけんな命令にはしたがわないことが、人を安全にみちびく訓練の内容です。</p> <p>5 要約を読み比べて、本時の振り返りを行う。</p> <p>・伝え合いをした感想や気づき</p> <p>・本文の内容をそのまま書くと長すぎるから短くまとめると伝わりやすい。</p> <p>・「たとえば」のある文の前や後ろを見るとだいたいな言葉が見付けられることがわかった。</p> <p>・「さいしょは」や「次は」の後にくる文章は本文の内容が短くまとめられた言葉になることがわかった。</p>	<p>㊦ 要点を見付けたり、要約を考えたりする時に何に注意をすれば良いか視点をもたせる。</p> <p>㊦ 言葉を補ったり、言い換えたりした班の意見と教科書の言葉をつなげた意見を比べることで、どちらがより短くわかりやすいか考えさせる。</p> <p>○ 中心となる言葉の見つけ方を確認し、次時の学習内容への意欲を喚起する。</p>
------------	---	---